

# 自己評価結果公表シート（令和5年度）

鮎川幼稚園

## 1、本園の教育目標

心身共に健康なこども  
自ら考え正しく判断することも  
豊かな情感を持ち、人に思いやりのあるこども

## 2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教職員自らが、評価項目を確認し、客観的に自園を見つめ直し  
教育内容の改善に取り組もうとする意志を持つことにより教育の質を高める。  
時代とともに変化していく保護者のニーズをよく検討し、長期のビジョンを明確にし、教育内容の改善に取り組む。

## 3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
子どもの実態に即した教育課程の作成	年度初めの年間計画、月案、週案を保育者一人ひとりが、各クラスの実態に即して作成する。 保育者の創意工夫を十分に活かした計画になるよう取り組んでいる。
日案に基づいて保育をする	保育者は、日案と一日の保育をふりかえり、保育の配慮点と子どもの様子を想起し、自己反省することで後日の保育にいかす。
保育者のニーズをよく理解し、保育者として責任ある対応ができる	保育に対する保護者の要求が増加傾向にあることから、保育者として子どもにとって何が必要なのかを職員研修のなかで話し合いながら進めている。
クラスだよりの発行	学年だよりととは別の視点から、何気ないこどもたちの日常、担任の思いを知っていただくクラスだよりを不定期に発行している。

#### 4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育者が保育に対するモチベーションを高めることが最重要課題である。

保育者一人ひとりが保育に対する本気度を高め、保育の喜びの意義を確認し、子どもとともに学びあう保育を目指す取り組みを進めている。

さらに保育者一人ひとりが自己点検し研鑽を継続する必要がある。

#### 5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
更なる教育内容の充実	園内研修等をさらに充実させ、伝統ある本園の教育にさらに磨きをかける。教職員同士が、クラスごとに保育の公開をし、互いに評価をし、研鑽することにより、保育の質の向上につなげていく。

#### 6、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている